



1月5日(金)6日(土)7日(日) カルッツかわさき presents ぱんだウインドオーケストラ杯 ・日刊スポーツ杯争奪戦



戦力充実の南関ライオン

川崎バンクの新年初戦は1月5日より開催されるぱんだウインドオーケストラ杯のF2戦。期のスタートで昇降級直後の開催だけに、競走得点と力関係の把握が車券購入のキーポイントとなりそう。

A1,2班戦は地元元志佐明(神奈川107期)の地元Vに期待がかかる。援軍には同じく地元の河野要(神奈川94期)や、S級でも活躍していた高橋雅之(千葉90期)、金川光浩(静岡56期)らが揃い強力な布陣が形成される。それに対抗するのが金澤竜二(福島91期)を中心とする東北勢。予選から当所好走する三浦平志郎(秋田100期)が優出果たせば大幅に戦力がアップ。関東勢は鈴木雄二(東京94期)の機動力が頼みとなりそう。和田禎嗣(埼玉99期)は自力主体にどこまで調子を取り戻せるか。そこを坂本将太郎(栃木101期)がバックアップする。

チャレンジ戦の注目は昨年11月に当初で初優勝決めた地元元能代谷元(神奈川111期)。坂本拓也(福島111期)率いる東北勢戦力整う関東勢も互角の争い。

A級注目選手

高橋 雅之
千葉90期



昨年前半に選手生命さえ脅かす状況になった高橋雅之は、闘病生活で

数ヶ月を棒に振った。そして今期は無念のA級陥落。復帰した当初は苦戦したが、持ち前のセンスとテクニクでカバーしつつ状態を戻し、競走得点も3ケタにまで上げた。番手を回れば仕事はきっちりこなす。ライオンを重んじた昔気質のレーススタイルで先行型からの信頼も高い。久々のA級戦となるが、重要な位置を回る機会が増える。この人の真骨頂が発揮される。

その高橋を押しめ援軍が多い地元元志佐明にとっては、戦い易い状況が整う。S級でも十分に戦えるスピードとパワーを身に付けている現在は、優勝候補として期待がかかる。11月の地元川崎での開催は準決勝で大敗を喫した。今節は地元元志佐明としての参戦だけにしっかりと決勝に勝ち上がり、ホームバンクでの初優勝を決めて地元ファンへの声援に応えて欲しいところ。

金澤 竜二 福島91期



近年は不調に苦しんでいる金澤竜二だが、昨年からのA級戦では常に中心の存在となる。降級した昨年7月からの後期は5度の優勝。強力な踏み出しと持久力を生かした先行、まくりに中心に格の違いを見せ付けている。かつてはS級でもF1なら優勝候補で、GIにも出場している経験豊富な機動型だ。前回は優出に失敗して競走得点は良く今年も各地のA級戦で機動力を発揮するだろう。高橋紀史(秋田91期)や、阿部英光(宮城89期)らの援護もあるし、強力な南関ライオンを倒すだけの力は十分。

もう一人注目したいのが三浦平志郎(秋田100期)だ。過去に1,2班戦での優勝が2回あるが、その2回がこの川崎での結果。当バンクとの相性は

抜群で、積極策で自分のパターンに持ち込めば点数以上の実力を発揮する。決勝で金澤と同乗すればより一層強力なライオンが形成されそう。

鈴木 雄二 東京94期



関東ライオンの軸には鈴木雄二。前期からA級での戦いが続いているが、本来はS級で十分に通用する素質のある選手だ。前期に3度の優勝を挙げているものの、まだまだ物足りない感はある。カマン、まくりの爆発力は魅力十分だし、必要な場面になればライオンを連れてきり抑え先行もこなす。展開が噛み合わないかと大敗するケースも少なくはないが、まだまだ優勝をものにするだけのパワーは健在だ。

和田禎嗣(埼玉99期)は今期からA降級。昨年の後半は落車による負傷で欠場が長引いたので自力の決まり手こそ無いが、A級では上位の機動力を持つ実力者。またまだ状態の面で心配な部分はあがるが、復調してくれば優勝戦線に名を連ねるはずだ。

自力選手を献身的にバックアップするのが坂本将太郎。前の仕掛けにもそう簡単に離れないう俊敏さもあるし、マーク技術も年々増してきている。



CR注目選手

能代谷 元
神奈川111期



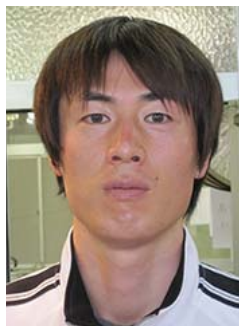
この川崎バンクで昨年11月に初優勝を達成したルーキーの能代谷元に注目したい。ライオンで決まるように常に意識した積極的な自力型。近況はまくりの決まり手も増えているが、持ち味は長い距離を踏める地脚。再度このホームバンクで結果を出して新年のスタートダッシュを決めたいところ。

度重なる負傷で苦しむ法月成祐(神奈川77期)だが、S級上位で活躍していた実力者。復調しつつあるので、能代谷と決勝で同乗すればVのチャンスが巡ってきてそうだ。

他にも自力自在に何でもこなす高田隼人(千葉88期)は自分で戦っても優勝争いできる力はあるが、同県の新鋭柴谷幸喜(千葉111期)を目標にできれば更に有利に戦えそう。

更に有利に戦えそう。更には静岡からは目標不在でも自力自在に戦える村本慎吾(静岡94期)らが参戦している。層の厚い南関勢が歩リードと見て良さそう。

伊藤 大理
長野85期



今期からチャレンジ戦に降班する伊藤大理(長野85期)は、自力自在に何でもこなすスタイルが身上。位置があれば後ろを回ることもあるが、この人の魅力は自在に脚まくり主体に相手との力関係次第では番手に飛び付くこともある。横田直輝(馬103期)や菅藤智(群馬95期)らと同乗するならば、番手で援護する機会も出てくるが、他にも関東勢は注目選手4期やS級経験もありマーク技術高い菊池宗訓(栃木85期)の栃木コンビも怖い。

東北勢からはルーキーが2人参戦。在校順位46位でまくりが多い坂本拓也だが、デビュー以来既に4Vで実績に向いているタイプと言える。多少の波はあるが、展開向けは決勝で勝ち切れる機動力を持つ。三浦大輝(宮城111期)はデビュー後は苦戦が続いたが、先行基本の積極策で戦毎に力を付けている。徳水真(青森100期)や笹治裕(北海道55期)らは若手機動型の活躍次第で浮上もある。

URBAN BANK かわさきケイリン

予想氏名		予選		決勝		注		▲		○		◎		×	
府県		最近4ヶ月成績		1着		2着		3着		3着外		棄権		失格	
別期		A1		A1		A1		A1		A1		A1		A1	
金川光浩	静岡	56	100	91	99	90	101	94	91	107	107	107	107	107	107
佐藤 壮	千葉	A1	A2	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1
高橋紀史	秋田	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和田禎嗣	埼玉	2	1	1	1	8	7	2	4	7	7	7	7	7	7
高橋雅之	千葉	6	2	3	0	5	8	1	3	3	3	3	3	3	3
坂本将太郎	栃木	25	9	0	0	15	14	15	10	8	8	8	8	8	8
鈴木雄二	東京	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金沢竜二	福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志佐 明	神奈川	34	14	39	6	30	30	28	30	30	30	30	30	30	30
能代谷 元	神奈川	0.00%	14.20%	0.00%	0.00%	6.60%	3.30%	35.70%	43.30%	40.00%	40.00%	40.00%	40.00%	40.00%	40.00%
伊藤 大理	長野	5.80%	21.40%	5.10%	16.60%	33.30%	26.60%	42.80%	56.60%	63.30%	63.30%	63.30%	63.30%	63.30%	63.30%
長野 85期	長野	23.50%	35.70%	12.80%	16.60%	50.00%	53.30%	46.40%	66.60%	73.30%	73.30%	73.30%	73.30%	73.30%	73.30%
三浦平志郎	秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿部英光	宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅藤智	群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菊池宗訓	栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳水真	青森	95.39	98.28	95.12	91.33	102.56	91.20	91.57	93.80	95.20	95.20	95.20	95.20	95.20	95.20

決勝想定メンバー